

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)



平成24年10月31日  
上場取引所 東 大名

上場会社名 富士フイルムホールディングス株式会社

コード番号 4901 URL <http://www.fujifilmholdings.com/>

代表者 代表取締役社長 中嶋 成博

問合せ先責任者 経営企画部 IR室長 杉山 健 TEL (03)6271-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有 (百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税金等調整前 四半期純利益		当社株主帰属 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,061,610	△ 2.0	42,285	△ 28.4	32,982	0.7	10,474	△ 29.7
24年3月期第2四半期	1,083,432	△ 2.0	59,043	△ 31.3	32,743	△ 57.5	14,898	△ 63.0

(注) 四半期包括利益(損失) 25年3月期第2四半期 △ 17,609 百万円 ( - %) 24年3月期第2四半期 △ 28,549 百万円 ( - %)

	1株当たり当社株主 帰属四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当社株主 帰属四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	21 74	21 22
24年3月期第2四半期	30 93	29 90

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,721,641	1,827,119	1,690,026	62.1
24年3月期	2,739,665	1,856,484	1,721,769	62.8

(注) 資本合計(純資産)は、P.8の連結貸借対照表の純資産合計を読み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	17 50	-	17 50	35 00
25年3月期	-	20 00	-	-	-
25年3月期(予想)	-	-	-	20 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		税金等調整前 当期純利益		当社株主帰属 当期純利益		1株当たり当社 株主帰属 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,210,000	0.7	125,000	10.7	105,000	17.7	45,000	2.8	93 42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	514,625,728 株	24年3月期	514,625,728 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	32,916,392 株	24年3月期	32,920,287 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	481,707,584 株	24年3月期2Q	481,690,795 株
----------	---------------	----------	---------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## [目次]

1.	当四半期決算に関する定性的情報		
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 5
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 5
(4)	株主還元	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項		
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
3.	継続企業の前提に関する重要事象等の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 6
4.	連結財務諸表等		
(1)	四半期連結貸借対照表	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 7
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期包括利益計算書 （四半期連結損益計算書）		
	【第2四半期連結累計期間】	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 9
	【第2四半期連結会計期間（3ヶ月）】	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 10
	（四半期連結包括利益計算書）		
	【第2四半期連結累計期間】	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 11
	【第2四半期連結会計期間（3ヶ月）】	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 11
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 12
(4)	継続企業の前提に関する注記	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 13
(5)	セグメント情報		
	1) 第2四半期連結累計期間	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 13
	2) 第2四半期連結会計期間（3ヶ月）	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 15
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	・・・・・・・・・・・・・・・・	P. 15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：億円)

	平成 25 年 3 月期 第 2 四半期累計		平成 24 年 3 月期 第 2 四半期累計		増減額	増減率
国内売上高	45.4%	4,814	45.0%	4,873	△59	△1.2%
海外売上高	54.6%	5,802	55.0%	5,961	△159	△2.7%
売上高	100.0%	10,616	100.0%	10,834	△218	△2.0%
営業利益	4.0%	423	5.4%	590	△167	△28.4%
営業外収益及び費用	△0.9%	△93	△2.4%	△263	170	-
税金等調整前四半期純利益	3.1%	330	3.0%	327	3	0.7%
当社株主帰属四半期純利益	1.0%	105	1.4%	149	△44	△29.7%
為替レート (円/米\$)		79		80	△1	
為替レート (円/Euro)		101		114	△13	

平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 24 年 4 月 1 日～9 月 30 日)の世界経済を概観すると、欧州では債務問題の長期化により景気悪化が続いています。米国景気は、緩やかな回復基調を維持していますが、回復基調は弱いものとなっています。アジアをはじめとする新興国地域でも、輸出の低迷を受けて経済成長のペースは減速しており、特に中国経済の成長鈍化が鮮明になっています。日本においては、東日本大震災からの復興需要は続くものの、海外経済の減速を受けて停滞感が強まっています。

当社グループの事業環境は、欧州の景気低迷による需要減少や、為替の対ユーロ円高影響などを受けて、厳しいものとなりました。

このような状況の中でも当社グループは、平成 22 年 3 月期から 2 年をかけた聖域なき構造改革によって構築した強靱な企業体質を基盤に、平成 24 年 3 月期には、中期経営計画「VISION80」(平成 25 年 3 月期～平成 26 年 3 月期)を策定し、世界市場を舞台に成長戦略を強力に推進しています。成長性が高く当社の技術力を存分に発揮できる重点事業分野と、成長が続く新興国を中心とするグローバル展開に経営資源を集中投入し、売上、市場シェアの拡大に取り組んでおります。

当社グループの平成 25 年 3 月期第 2 四半期累計期間における連結売上高は、10,616 億円(前年同期比 2.0%減(為替影響額を除いた前年同期比 0.1%減))となりました。新商品の投入や新興国市場の成長に対応し拡販施策を強化したものの、欧州の景気悪化による需要減少や、為替の円高影響(203 億円)などにより、前年同期比で 218 億円の減少となりました。

営業利益は、為替の円高影響(64 億円)などを受け、前年同期比 28.4%減の 423 億円となりました。

税金等調整前四半期純利益は、売上高の減少に伴う売上総利益の減少があったものの、投資有価証券評価損の減少や為替差損益(純額)の減少などにより、330 億円(前年同期比 0.7%増)となりました。当社株主帰属四半期純利益は、持分法による投資損益が減少したことから、105 億円(前年同期比 29.7%減)となりました。

当四半期累計期間の円為替レートは、対米ドルで 79 円、対ユーロで 101 円となりました。

## 【事業セグメント別の売上高】

(単位：億円)

セグメント	平成 25 年 3 月期 第 2 四半期累計	平成 24 年 3 月期 第 2 四半期累計	増減額	増減率
イメージング ソリューション	1,426	1,624	△198	△12.2%
インフォメーション ソリューション	4,289	4,349	△60	△1.4%
ドキュメント ソリューション	4,901	4,861	40	0.8%
連結合計	10,616	10,834	△218	△2.0%

## 【事業セグメント別の営業利益（△損失）】

(単位：億円)

セグメント	平成 25 年 3 月期 第 2 四半期累計	平成 24 年 3 月期 第 2 四半期累計	増減額	増減率
イメージング ソリューション	△13	△37	24	-
インフォメーション ソリューション	243	337	△94	△28.1%
ドキュメント ソリューション	362	437	△75	△17.1%
全社費用及び セグメント間取引消去	△169	△147	△22	-
連結合計	423	590	△167	△28.4%

## 「イメージング ソリューション部門」

イメージング ソリューション部門の連結売上高は、カラーペーパーの販売が好調であったものの、為替の円高影響（59 億円）などの影響により、1,426 億円（前年同期比 12.2%減（為替影響額を除いた前年同期比 8.5%減））となりました。

当部門の営業損失は、為替の円高や、売上減少などの影響により、13 億円となりました。

フォトイメージング事業では、「フォトブック」などの付加価値プリントの拡販などによりカラーペーパーの販売が好調に推移し、シェアも拡大しましたが、為替の円高などの影響により、売上が減少しました。

電子映像事業では、コンパクトカメラの総需が減少するなかで当社のシェアは拡大したものの、為替の円高などの影響を受けて売上が減少しました。平成 24 年 9 月に発表したレンズ交換式プレミアムカメラ「FUJIFILM X-E1」や、薄型スタイリッシュで高性能なコンパクトカメラ「FUJIFILM XF1」、及び、新たな交換レンズを今後市場投入し、独自技術を活かした高級機種「X シリーズ」のラインアップを強化するとともに、現地法人の設立などによる新興国での販売強化を継続していきます。

## 「インフォメーション ソリューション部門」

インフォメーション ソリューション部門の連結売上高は、メディカルシステム事業や医薬品事業など成長事業の売上が拡大したものの、為替の円高影響（75 億円）や、フラットパネルディスプレイ材料事業の売上減少などにより、4,289 億円（前年同期比 1.4%減（為替影響額を除いた前年同期比 0.3%増））となりました。

当部門の営業利益は、為替の円高、売上減少などの影響により、243 億円（前年同期比 28.1%減）となりました。

メディカルシステム事業では、ネットワークシステムの販売好調に加え、モダリティや内視鏡の機器販売が堅調に推移し、さらに買収した携帯型超音波診断装置メーカーである米国 SonoSite, Inc. の連結子会社化により、売上が大幅に増加しました。

モダリティ分野では、低価格・小型デジタルX線画像診断装置「FCR PRIMA」シリーズの販売が好調に推移しました。

内視鏡分野では、病院市場への高画質経鼻内視鏡の販売が好調に推移し、売上が増加しました。平成 24 年 9 月に早期がんなどの病変部の視認性向上を実現した、レーザー光源搭載の画期的な新世代内視鏡システム「LASEREO」を発売しました。

ネットワークシステム分野では、医用画像情報システム(PACS)を中心に診療情報分野への事業拡大を進めており、売上が増加しました。当社PACS「SYNAPSE」は、国内約1,800の医療施設に導入されて

おり、トップシェアを維持しています。

医薬品事業では、富山化学工業株式会社のβ-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質製剤「ゾシン」や、ニューキノロン系経口抗菌製剤「オゼックス細粒」などの販売が好調だったこと、また、富士フイルムファーマ株式会社の売上が増加したことなどにより、売上が大幅に増加しました。

ライフサイエンス事業では、売上が前年同期並みとなりました。平成24年9月にリニューアルした機能性化粧品「新アスタリフト」シリーズの販促活動を積極的に展開したことなどにより化粧品の国内販売が好調に推移しました。今後はこの「新アスタリフト」、及び、平成24年7月に発売した20～30代女性向け新スキンケアシリーズ「ルナメア」等の新製品の拡販に努めていきます。

グラフィックシステム事業では、CTPプレートの販売が堅調に推移し、シェアも拡大しましたが、為替の円高などの影響により、売上が減少しました。今後はワイドフォーマットインクジェットプリンターや「Jet Press 720」を中心とするデジタルプリンティング分野に注力するとともに、新興国での拡販を強化していきます。

フラットパネルディスプレイ材料事業では、「VA用フィルム」や「IPS用フィルム」の販売が好調に推移したものの、「WVフィルム」がIT機器の需要低迷、及び、サプライチェーン内での在庫調整の影響を受けたことにより販売が減少し、事業全体としても売上が減少しました。今後は、フィルムの薄膜化による製品ラインアップ拡充を図るとともに、大型液晶テレビ向けの超広幅フィルムの需要拡大に対応するため、平成25年3月期末までにさらに2ラインを稼働させる予定です。新ラインの稼働に合わせ、既存1ラインを中小型ディスプレイ向け製品開発のための専用ラインとし、需要が急拡大するタブレットPCやスマートフォン向けフィルムの新製品開発や生産を一層強化していきます。

産業機材事業では、工業用X線フィルムの販売が堅調に推移したものの、為替の円高などの影響を受け、売上が減少しました。今後は、透明導電性フィルム「エクスクリア」や太陽電池用高耐候PETフィルムを市場投入し、成長が見込まれるタッチパネル分野や環境・エネルギー分野での売上拡大を目指していきます。

電子材料事業では、ArF液浸レジスト、イメージセンサー用カラーモザイク、先端エッチング液、CMPスラリーなどの販売が好調に推移し、売上が増加しました。

光学デバイス事業では、携帯電話用カメラレンズの販売がダウンしたことなどにより、売上が減少しました。今後はスマートフォン用薄型カメラモジュールを中心に新領域への事業拡大を推進していきます。

記録メディア事業では、為替の円高影響や、業務用ビデオの販売が総需減などの影響を受けて減少したことにより、売上が減少しました。

#### 「ドキュメントソリューション部門」

ドキュメントソリューション部門の連結売上高は、為替の円高影響（69億円）などがあったものの、国内、及び、アジア・オセアニア地域において売上が堅調に推移したことにより、4,901億円（前年同期比0.8%増（為替を除いた前年同期比2.3%増））となりました。

当部門の営業利益は、欧州の景気悪化や為替の円高などの影響により、362億円（前年同期比17.1%減）となりました。

オフィスプロダクト事業は、国内においては、フルカラーデジタル複合機「ApeosPort-IV / DocuCentre-IV」シリーズの販売が引き続き好調に推移するとともに、大型商談の成約による大量設置もあり、カラー機、モノクロ機ともに販売台数が増加しました。また、市場における稼働台数、及び、1台あたりのコピー枚数の増加などにより、消耗品及び保守サービス売上が増加しました。アジア・オセアニア地域においては、平成24年6月に発売したモノクロデジタル複合機「DocuCentre S2010 / S1810」の販売が好調に推移し、モノクロ機の販売台数が大幅に増加するとともに、カラー機の販売台数も増加しました。米国ゼロックス社向け輸出においては、モノクロ機の出荷台数が大幅に伸び、全体の販売台数が増加しました。

オフィスプリンター事業は、米国ゼロックス社向け輸出においては、低速機の出荷が伸長し、出荷台数が大幅に増加しました。一方、国内においては、モノクロ機、カラー機ともに販売台数が減少しました。アジア・オセアニア地域においては、カラー機の販売台数は増加したものの、モノクロ機の販売台数が減少し、全体の販売台数が減少しました。

プロダクションサービス事業は、国内においては、平成24年4月に発売した基幹業務系ネットワークプリンター「D125 Printer / D110 Printer」の販売が好調に推移したものの、前年同期に基幹業務系中・小型プリンターの大型設置があったことなどにより、全体では販売台数は減少しました。また、米国ゼロック社向け輸出においても、全体で出荷台数が減少しました。一方、アジア・オセアニア地域においては、カラー・オンデマンド・パブリッシング・システム「Color 1000 Press / Color 800 Press」の販売が好調に推移し、販売台数全体でも増加しました。

グローバルサービス事業は、国内、アジア・オセアニア地域ともに売上が増加し、国内においては2桁の増収となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

平成25年3月期第2四半期末は、営業債権及びリース債権が減少したことや、為替の円高影響などにより、前期末(平成24年3月31日)に比べ、資産合計が180億円減の2兆7,216億円(前期末比0.7%減)となりました。社債及び長期借入金が増加したことなどにより、負債は113億円増の8,945億円(前期末比1.3%増)となりました。株主資本は、317億円減の1兆6,900億円(前期末比1.8%減)となりました。この結果、流動比率は、前期末に比べ28.5ポイント増の219.4%、負債比率は1.6ポイント増の52.9%、株主資本比率は0.7ポイント減の62.1%となり、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

## 【キャッシュ・フローの状況】

(単位：億円)

	平成25年3月期 第2四半期累計	平成24年3月期 第2四半期累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	841	597	244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△624	△575	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	655	△193	848

平成25年3月期第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少などにより、841億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資に伴う有形固定資産の購入などにより、624億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、217億円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期債務による資金調達などにより、655億円の収入となりました。

現金及び現金同等物の平成25年3月期第2四半期末残高は、前期末(平成24年3月31日)に比べ790億円増加し、3,141億円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

(平成25年3月期 通期連結業績予想値の修正)

	売上高	営業利益	税金等調整前 当期純利益	当社株主帰属 当期純利益	1株当たり 当社株主帰属 当期純利益
前回発表予想(A) (平成24年4月27日発表)	百万円 2,370,000	百万円 140,000	百万円 135,000	百万円 65,000	円 銭 134.94
今回修正予想(B)	2,210,000	125,000	105,000	45,000	93.42
増減額(B-A)	△160,000	△15,000	△30,000	△20,000	△41.52
増減率(%)	△6.8	△10.7	△22.2	△30.8	△30.8
(参考) 前期実績 (平成24年3月期)	2,195,293	112,948	89,187	43,758	90.84

当社を取り巻く事業環境は、米国では景気の回復が依然として弱く、欧州でも景気悪化が続いています。中国をはじめとする新興国地域でも経済成長の鈍化が見られます。日本においても、海外経済の減速を受けて停滞感が強まっています。

当社においては、世界的な景況感の悪化に伴う需要の減少の影響を受け、売上が計画を下回って推移しております。また、これにより営業利益も計画を下回っております。

これらの状況を踏まえ、平成25年3月期の通期連結業績予想については、売上高、営業利益、税金等調整前当期純利益、当社株主帰属当期純利益、1株当たり当社株主帰属当期純利益を下方修正いたします。

#### (4) 株主還元

配当につきましては、連結業績を反映させるとともに、成長事業のさらなる拡大に向けた M&A、設備投資、研究開発投資など、将来にわたって企業価値を向上させていくために必要となる資金の水準なども考慮した上で決定いたします。また、その時々々のキャッシュ・フローを勘案し、株価推移に応じて自己株式の取得も機動的に検討していきます。配当性向は25%以上を目標としております。

当期の中間配当金は、1株当たり20円といたしました。期末配当金については、1株当たり20円を予定しており、中間配当金と合わせて年間で40円と、前期と比べて5円の増配を予定しております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

平成23年6月に、米国財務会計基準審議会は、会計基準アップデート2011-05「包括利益の表示」を発行しました。会計基準アップデート2011-05は、基準書220を改訂し、純損益の各内訳項目及びその他の包括利益の各内訳項目を1計算書方式または2計算書方式のいずれかで表示することを要求し、その他の包括利益を連結資本勘定計算書内で表示する選択肢を削除しております。平成23年12月に、米国財務会計基準審議会は、会計基準アップデート2011-12「会計基準アップデート2011-05におけるその他の包括利益累積額の各内訳項目の再分類の表示に対する改訂の適用日の延期」を発行しました。会計基準アップデート2011-12は、会計基準アップデート2011-05で要求されているその他の包括利益累積額から当期純利益へ再分類修正した項目を財務諸表へ表示する規定の適用時期を延期しております。会計基準アップデート2011-05及び会計基準アップデート2011-12による基準書220の改訂は、平成23年12月15日より後に始まる連結会計年度（期中会計期間を含む）から遡及的に適用され、当社においては、平成24年4月1日より始まる第1四半期連結会計期間から適用し、2計算書方式で表示しております。会計基準アップデート2011-05及び会計基準アップデート2011-12による基準書220の修正が当社の経営成績及び財政状態に与える影響はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。



## 4. 連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第2四半期 連結会計期間末 平成24年9月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成24年3月31日現在	増減 (△は減少)
[資産の部]				
流動資産				
現金及び現金同等物		314,140	235,104	79,036
有価証券		8,414	12,364	△ 3,950
受取債権				
営業債権及びリース債権		478,632	541,988	△ 63,356
関連会社等に対する債権		30,924	32,102	△ 1,178
貸倒引当金		△ 16,638	△ 17,607	969
		492,918	556,483	△ 63,565
棚卸資産		388,736	377,952	10,784
前払費用及びその他の流動資産		151,118	140,088	11,030
流動資産 合計		1,355,326	1,321,991	33,335
投資及び長期債権				
関連会社等に対する投資及び貸付金		34,419	35,614	△ 1,195
投資有価証券		99,447	118,954	△ 19,507
長期リース債権及びその他の長期債権		126,098	128,493	△ 2,395
貸倒引当金		△ 3,211	△ 3,221	10
投資及び長期債権 合計		256,753	279,840	△ 23,087
有形固定資産				
土地		93,997	94,730	△ 733
建物及び構築物		663,885	666,724	△ 2,839
機械装置及びその他の有形固定資産		1,564,173	1,557,424	6,749
建設仮勘定		28,382	41,030	△ 12,648
		2,350,437	2,359,908	△ 9,471
減価償却累計額		△ 1,813,324	△ 1,805,992	△ 7,332
有形固定資産 合計		537,113	553,916	△ 16,803
その他の資産				
営業権		370,468	393,541	△ 23,073
その他の無形固定資産		69,520	43,900	25,620
その他		132,461	146,477	△ 14,016
その他の資産 合計		572,449	583,918	△ 11,469
資産 合計		2,721,641	2,739,665	△ 18,024

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第2四半期 連結会計期間末 平成24年9月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成24年3月31日現在	増減 (△は減少)
[負債の部]				
流動負債				
社債及び短期借入金		160,309	178,536	△ 18,227
支払債務				
営業債務		195,961	228,383	△ 32,422
設備関係債務		22,364	26,729	△ 4,365
関連会社等に対する債務		2,789	3,292	△ 503
		221,114	258,404	△ 37,290
未払法人税等		14,811	12,864	1,947
未払費用		162,477	178,618	△ 16,141
その他の流動負債		59,093	63,945	△ 4,852
流動負債 合計		617,804	692,367	△ 74,563
固定負債				
社債及び長期借入金		114,801	20,334	94,467
退職給付引当金		74,127	85,116	△ 10,989
預り保証金及びその他の固定負債		87,790	85,364	2,426
固定負債 合計		276,718	190,814	85,904
負債 合計		894,522	883,181	11,341
[純資産の部]				
株主資本				
資本金		40,363	40,363	-
普通株式				
発行可能株式総数 800,000,000株				
発行済株式総数 514,625,728株				
資本剰余金		75,097	74,780	317
利益剰余金		1,945,397	1,944,557	840
その他の包括利益(△損失)累積額		△ 268,314	△ 235,400	△ 32,914
自己株式		△ 102,517	△ 102,531	14
株主資本 合計		1,690,026	1,721,769	△ 31,743
非支配持分		137,093	134,715	2,378
純資産 合計		1,827,119	1,856,484	△ 29,365
負債・純資産 合計		2,721,641	2,739,665	△ 18,024

(注)その他の包括利益(△損失)累積額 内訳

	平成24年9月30日現在	平成24年3月31日現在	増減 (△は減少)
有価証券未実現損益	1,901	9,869	△ 7,968
為替換算調整額	△ 172,729	△ 145,845	△ 26,884
年金負債調整額	△ 97,662	△ 99,470	1,808
デリバティブ未実現損益	176	46	130

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

【第2四半期連結累計期間】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第2四半期 連結累計期間		平成24年3月期第2四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日		自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日		増減額	増減率
売上高		%		%			%
売上高		890,292		914,757	△ 24,465		△ 2.7
レンタル収入		171,318		168,675	2,643		1.6
		100.0	1,061,610	100.0	1,083,432	△ 21,822	△ 2.0
売上原価							
売上原価		575,721		579,815	△ 4,094		△ 0.7
レンタル原価		72,262		75,751	△ 3,489		△ 4.6
		61.0	647,983	60.5	655,566	△ 7,583	△ 1.2
売上総利益		39.0	413,627	39.5	427,866	△ 14,239	△ 3.3
営業費用							
販売費及び一般管理費		27.3	289,498	26.4	285,537	3,961	1.4
研究開発費		7.7	81,844	7.7	83,286	△ 1,442	△ 1.7
		35.0	371,342	34.1	368,823	2,519	0.7
営業利益		4.0	42,285	5.4	59,043	△ 16,758	△ 28.4
営業外収益及び費用(△)							
受取利息及び配当金		2,322		2,701	△ 379		
支払利息		△ 1,853		△ 1,606	△ 247		
為替差損益・純額		△ 9,535		△ 11,876	2,341		
投資有価証券評価損		△ 1,187		△ 15,031	13,844		
その他損益・純額		950		△ 488	1,438		
		△ 0.9	△ 9,303	△ 2.4	△ 26,300	16,997	-
税金等調整前四半期純利益		3.1	32,982	3.0	32,743	239	0.7
法人税等		1.1	11,904	1.1	11,747	157	1.3
持分法による投資損益		△ 0.4	△ 3,616	0.1	492	△ 4,108	-
四半期純利益		1.6	17,462	2.0	21,488	△ 4,026	△ 18.7
控除:非支配持分帰属損益		△ 0.6	△ 6,988	△ 0.6	△ 6,590	△ 398	-
当社株主帰属四半期純利益		1.0	10,474	1.4	14,898	△ 4,424	△ 29.7

【第2四半期連結会計期間(3ヶ月)】

単位 百万円

科目	期別		期別		増減 (△は減少)	
	平成25年3月期第2四半期 連結会計期間 自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日		平成24年3月期第2四半期 連結会計期間 自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日		増減額	増減率
売上高	%		%			%
売上高		459,866		469,186	△ 9,320	△ 2.0
レンタル収入		83,404		84,110	△ 706	△ 0.8
	100.0	543,270	100.0	553,296	△ 10,026	△ 1.8
売上原価						
売上原価		299,751		297,778	1,973	0.7
レンタル原価		35,135		40,317	△ 5,182	△ 12.9
	61.6	334,886	61.1	338,095	△ 3,209	△ 0.9
売上総利益	38.4	208,384	38.9	215,201	△ 6,817	△ 3.2
営業費用						
販売費及び一般管理費	26.7	144,656	25.7	142,091	2,565	1.8
研究開発費	7.8	42,387	7.8	43,060	△ 673	△ 1.6
	34.5	187,043	33.5	185,151	1,892	1.0
営業利益	3.9	21,341	5.4	30,050	△ 8,709	△ 29.0
営業外収益及び費用(△)						
受取利息及び配当金		809		1,015	△ 206	
支払利息		△ 1,062		△ 804	△ 258	
為替差損益・純額		△ 1,280		△ 9,460	8,180	
投資有価証券評価損		△ 907		△ 14,928	14,021	
その他損益・純額		729		△ 1,247	1,976	
	△ 0.3	△ 1,711	△ 4.6	△ 25,424	23,713	-
税金等調整前四半期純利益	3.6	19,630	0.8	4,626	15,004	324.3
法人税等	1.3	6,946	0.1	482	6,464	-
持分法による投資損益	△ 0.2	△ 1,374	△ 0.0	△ 59	△ 1,315	-
四半期純利益	2.1	11,310	0.7	4,085	7,225	176.9
控除:非支配持分帰属損益	△ 0.6	△ 3,340	△ 0.6	△ 3,700	360	-
当社株主帰属四半期純利益	1.5	7,970	0.1	385	7,585	-

(四半期連結包括利益計算書)

【第2四半期連結累計期間】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第2四半期 連結累計期間	平成24年3月期第2四半期 連結累計期間	増減 (△は減少)
		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日	自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日	
四半期純利益		17,462	21,488	△ 4,026
その他の包括利益(△損失) - 税効果調整後				
有価証券未実現損益変動額		△ 8,050	△ 747	△ 7,303
為替換算調整額		△ 29,317	△ 50,181	20,864
年金負債調整額		2,172	981	1,191
デリバティブ未実現損益変動額		124	△ 90	214
その他の包括利益(△損失)合計		△ 35,071	△ 50,037	14,966
四半期包括損失		△ 17,609	△ 28,549	10,940
控除:非支配持分帰属四半期包括損益		△ 4,831	△ 2,755	△ 2,076
当社株主帰属四半期包括損失		△ 22,440	△ 31,304	8,864

【第2四半期連結会計期間(3ヶ月)】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第2四半期 連結会計期間	平成24年3月期第2四半期 連結会計期間	増減 (△は減少)
		自 平成24年 7月 1日 至 平成24年 9月30日	自 平成23年 7月 1日 至 平成23年 9月30日	
四半期純利益		11,310	4,085	7,225
その他の包括利益(△損失) - 税効果調整後				
有価証券未実現損益変動額		△ 1,348	2,388	△ 3,736
為替換算調整額		△ 2,514	△ 40,593	38,079
年金負債調整額		1,149	△ 446	1,595
デリバティブ未実現損益変動額		148	△ 50	198
その他の包括利益(△損失)合計		△ 2,565	△ 38,701	36,136
四半期包括利益(△損失)		8,745	△ 34,616	43,361
控除:非支配持分帰属四半期包括損益		△ 3,546	△ 343	△ 3,203
当社株主帰属四半期包括利益(△損失)		5,199	△ 34,959	40,158

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第2四半期 連結累計期間	平成24年3月期第2四半期 連結累計期間	増減 (△は減少)
		自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日	自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益		17,462	21,488	△ 4,026
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整				
(1) 減価償却費		66,859	70,405	△ 3,546
(2) 投資有価証券評価損		1,187	15,031	△ 13,844
(3) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)		4,214	261	3,953
(4) 資産及び負債の増減				
受取債権の減少		49,680	1,459	48,221
棚卸資産の増加		△ 16,979	△ 19,105	2,126
営業債務の減少		△ 27,941	△ 16,031	△ 11,910
未払法人税等及びその他負債の減少		△ 19,214	△ 16,001	△ 3,213
(5) その他		8,867	2,174	6,693
小計		66,673	38,193	28,480
営業活動によるキャッシュ・フロー		84,135	59,681	24,454
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の購入		△ 44,642	△ 51,007	6,365
2. ソフトウェアの購入		△ 8,911	△ 9,830	919
3. 有価証券・投資有価証券等の売却・満期償還		10,713	25,714	△ 15,001
4. 有価証券・投資有価証券等の購入		△ 702	△ 10,616	9,914
5. 関係会社投融資及びその他貸付金の増加(△)・減少		△ 3,348	122	△ 3,470
6. 事業買収に伴う支出 (買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)		△ 2,232	△ 1,850	△ 382
7. その他		△ 13,300	△ 9,962	△ 3,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 62,422	△ 57,429	△ 4,993
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期債務による調達額		100,649	6,785	93,864
2. 長期債務の返済額		△ 15,974	△ 19,117	3,143
3. 短期債務の増加・減少(△)(純額)		△ 8,336	622	△ 8,958
4. 親会社による配当金支払額		△ 8,430	△ 7,225	△ 1,205
5. 非支配持分への配当金支払額		△ 2,373	△ 2,061	△ 312
6. 自己株式の取得(純額)		△ 2	△ 2	0
7. その他		△ 24	1,710	△ 1,734
財務活動によるキャッシュ・フロー		65,510	△ 19,288	84,798
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響		△ 8,187	△ 16,101	7,914
V. 現金及び現金同等物純増加・純減少(△)		79,036	△ 33,137	112,173
VI. 現金及び現金同等物期首残高		235,104	313,070	△ 77,966
VII. 現金及び現金同等物四半期末残高		314,140	279,933	34,207

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 1) 第2四半期連結累計期間

## ① 事業別セグメント情報

## 【売上高】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第2四半期 連結累計期間		平成24年3月期第2四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日		自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		増減額	増減率
売上高：		%		%			%
イメーシングソリューション：							
外部顧客に対するもの		13.4	142,598	15.0	162,395	△ 19,797	△ 12.2
セグメント間取引			358		334	24	-
計			142,956		162,729	△ 19,773	△ 12.2
インフォメーションソリューション：							
外部顧客に対するもの		40.4	428,875	40.1	434,959	△ 6,084	△ 1.4
セグメント間取引			983		725	258	-
計			429,858		435,684	△ 5,826	△ 1.3
ドキュメントソリューション：							
外部顧客に対するもの		46.2	490,137	44.9	486,078	4,059	0.8
セグメント間取引			5,761		4,821	940	-
計			495,898		490,899	4,999	1.0
セグメント間取引消去			△ 7,102		△ 5,880	△ 1,222	-
連結 合計		100.0	1,061,610	100.0	1,083,432	△ 21,822	△ 2.0

## 【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第2四半期 連結累計期間		平成24年3月期第2四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日		自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		増減額	増減率
営業利益(△損失)：		%		%			%
イメーシングソリューション		△ 0.9	△ 1,320	△ 2.3	△ 3,693	2,373	-
インフォメーションソリューション		5.6	24,265	7.7	33,733	△ 9,468	△ 28.1
ドキュメントソリューション		7.3	36,184	8.9	43,654	△ 7,470	△ 17.1
計			59,129		73,694	△ 14,565	△ 19.8
全社費用及びセグメント間取引消去			△ 16,844		△ 14,651	△ 2,193	-
連結 合計		4.0	42,285	5.4	59,043	△ 16,758	△ 28.4

## (注) 各区分に属する主要な製品の名称

イメーシングソリューション： カラーフィルム、デジタルカメラ、フォトフィニッシング機器、写真プリント用カラーペーパー・薬品・サービス等

インフォメーションソリューション： メディカルシステム機材、ライフサイエンス製品、医薬品、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、記録メディア、光学デバイス、電子材料

ドキュメントソリューション： オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、オフィスサービス、用紙、消耗品等

## ②所在地別セグメント情報

## 【売上高】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第2四半期 連結累計期間		平成24年3月期第2四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日		自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		増減額	増減率
売上高：		%		%			%
日本							
外部顧客に対するもの		58.0	616,251	58.6	634,566	△ 18,315	△ 2.9
セグメント間取引			187,336		200,626	△ 13,290	-
計			803,587		835,192	△ 31,605	△ 3.8
米州							
外部顧客に対するもの		14.9	157,678	14.6	158,254	△ 576	△ 0.4
セグメント間取引			16,739		12,047	4,692	-
計			174,417		170,301	4,116	2.4
欧州							
外部顧客に対するもの		9.1	96,981	9.7	104,826	△ 7,845	△ 7.5
セグメント間取引			8,137		7,331	806	-
計			105,118		112,157	△ 7,039	△ 6.3
アジア及びその他							
外部顧客に対するもの		18.0	190,700	17.1	185,786	4,914	2.6
セグメント間取引			133,426		128,674	4,752	-
計			324,126		314,460	9,666	3.1
セグメント間取引消去			△ 345,638		△ 348,678	3,040	-
連結 合計		100.0	1,061,610	100.0	1,083,432	△ 21,822	△ 2.0

## 【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	平成25年3月期第2四半期 連結累計期間		平成24年3月期第2四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日		自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		増減額	増減率
営業利益(△損失)：		%		%			%
日本		3.0	23,816	4.7	39,309	△ 15,493	△ 39.4
米州		1.7	2,883	2.2	3,702	△ 819	△ 22.1
欧州		0.2	205	△ 0.6	△ 723	928	-
アジア及びその他		3.7	12,133	5.0	15,738	△ 3,605	△ 22.9
セグメント間取引消去			3,248		1,017	2,231	-
連結 合計		4.0	42,285	5.4	59,043	△ 16,758	△ 28.4



## 【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別		期別		増減 (△は減少)	
	平成25年3月期第2四半期 連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日		平成24年3月期第2四半期 連結累計期間 自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日		増減額	増減率
売上高 :	%		%			%
国内	45.4	481,441	45.0	487,328	△ 5,887	△ 1.2
海外						
米州	18.1	191,970	16.9	183,294	8,676	4.7
欧州	11.3	120,469	12.3	133,515	△ 13,046	△ 9.8
アジア及びその他	25.2	267,730	25.8	279,295	△ 11,565	△ 4.1
計	54.6	580,169	55.0	596,104	△ 15,935	△ 2.7
連結 合計	100.0	1,061,610	100.0	1,083,432	△ 21,822	△ 2.0

(注)【海外売上高(仕向地ベース)】は、取引先の所在地により区分し、表示しております。

## 2) 第2四半期連結会計期間(3ヶ月)

## 【事業セグメント別売上高】

単位 百万円

科目	期別		期別		増減 (△は減少)	
	平成25年3月期第2四半期 連結会計期間 自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日		平成24年3月期第2四半期 連結会計期間 自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日		増減額	増減率
売上高 :	%		%			%
イメージングソリューション :	12.7	69,021	14.6	80,740	△ 11,719	△ 14.5
インフォメーションソリューション :	41.8	227,046	39.2	216,915	10,131	4.7
ドキュメントソリューション :	45.5	247,203	46.2	255,641	△ 8,438	△ 3.3
連結 合計	100.0	543,270	100.0	553,296	△ 10,026	△ 1.8

(注)各区分に属する主要な製品の名称

イメージングソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、フォトフィニッシング機器、写真プリント用カラーペーパー・薬品・サービス等

インフォメーションソリューション : メディカルシステム機材、ライフサイエンス製品、医薬品、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、記録メディア、光学デバイス、電子材料

ドキュメントソリューション : オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、オフィスサービス、用紙、消耗品等

## 【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別		期別		増減 (△は減少)	
	平成25年3月期第2四半期 連結会計期間 自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日		平成24年3月期第2四半期 連結会計期間 自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日		増減額	増減率
売上高 :	%		%			%
国内	46.6	253,013	45.5	251,871	1,142	0.5
海外						
米州	18.1	98,177	17.1	94,387	3,790	4.0
欧州	10.7	58,147	12.3	67,917	△ 9,770	△ 14.4
アジア及びその他	24.6	133,933	25.1	139,121	△ 5,188	△ 3.7
計	53.4	290,257	54.5	301,425	△ 11,168	△ 3.7
連結 合計	100.0	543,270	100.0	553,296	△ 10,026	△ 1.8

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。